

**製品名: 切断型カスパーゼ 4/5 p20 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00843**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 47,22 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CASP4
別名	TX; Mih1; ICH-2; Mih1/TX; ICEREL-II; ICE(rel)II
遺伝子 ID	837/838
SwissProt ID	P49662/P51878
免疫原	-

**背景**

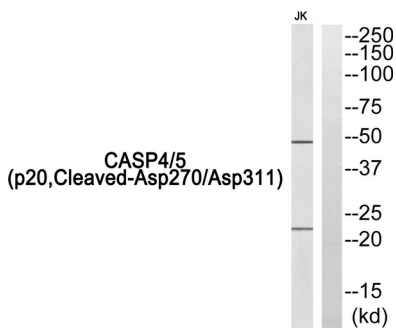
CASP4 (カスパーゼ 4) は、システイン-アスパラギン酸プロテアーゼ (カスパーゼ) ファミリーに属するタンパク質をコードしています。カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは、プロドメ

インと大小のプロテアーゼサブユニットからなる不活性なプロ酵素として存在します。カスパーゼの活性化には、保存された内部アスパラギン酸残基におけるタンパク質分解処理が必要であり、大小のサブユニットからなるヘテロ二量体酵素が生成されます。このカスパーゼは、自身の前駆体タンパク質だけでなく、カスパーゼ 1 の前駆体タンパク質も切断・活性化することができます。カスパーゼ 4 が過剰発現すると、細胞アポトーシスが誘導されます。選択的スプライシングによって、異なるアイソフォームをコードする転写産物バリエーションが生成されます。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



Jurkat ライセート中の切断型カスパーゼ 4/5 p20 を、カスパーゼ 4/5 (p20, 切断型 Asp270/Asp311) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンにはカスパーゼ 4/5 (p20, 切断型 Asp270/Asp311) ペプチドでブロッキングされている。